

## 第 32 回港区民世論調査報告書 概要版

# MINATO OPINION

ミナト

オピニオン

この冊子は、令和元年 10 月に実施した「第 32 回港区民世論調査」の結果の概要版です。  
ご協力いただきました区民の皆様に心から感謝申し上げます。

### 【調査の概要】

#### ■調査設計等

【調査対象】 港区在住の満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】 2,000 人

【抽出方法】 住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調査方法】 郵送配布・郵送又はインターネットによる回収

【調査期間】 令和元年 10 月 29 日（火）～11 月 14 日（木）

【有効回収数】 658 人

【有効回収率】 32.9%

#### ■調査項目

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 定住意向      | 6 プラスチックごみ     |
| 2 区政全般      | 7 災害対策         |
| 3 区基本計画     | 8 生活安全         |
| 4 やさしい日本語   | 9 平和           |
| 5 みなとタバコルール | 10 港区の職員に対する印象 |

※ 図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。

※ 回答率は百分率で算出し、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

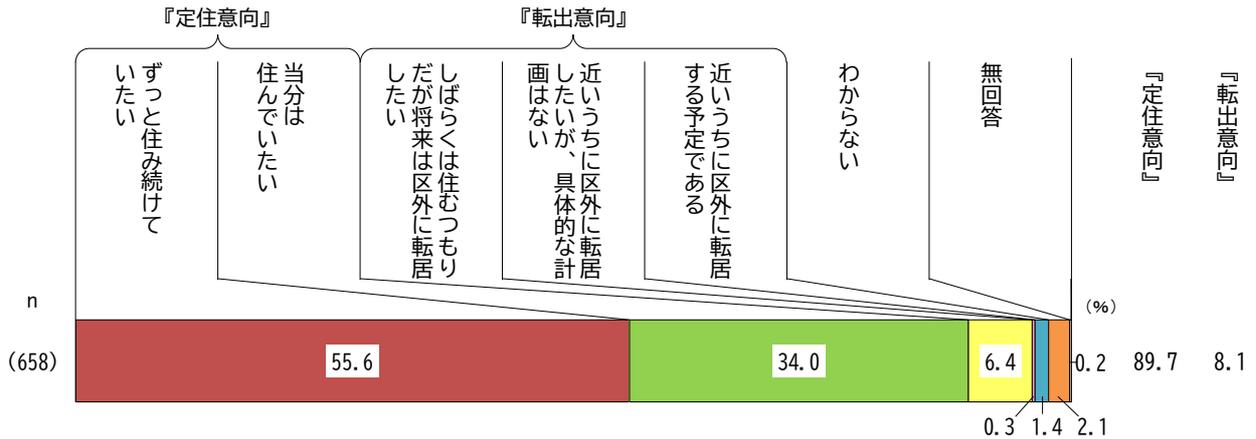
※ 複数回答の設問では、回答率の合計が 100%を超える場合があります。

# 港 区

# 1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（55.6%）が5割半ばで最も多く、これに「当分は住んでいたい」（34.0%）を合わせた『定住意向』（89.7%）は約9割となっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」（6.4%）と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」（0.3%）と「近いうちに区外に転居する予定である」（1.4%）を合わせた『転出意向』（8.1%）は1割近くとなっています。（図1）

図1

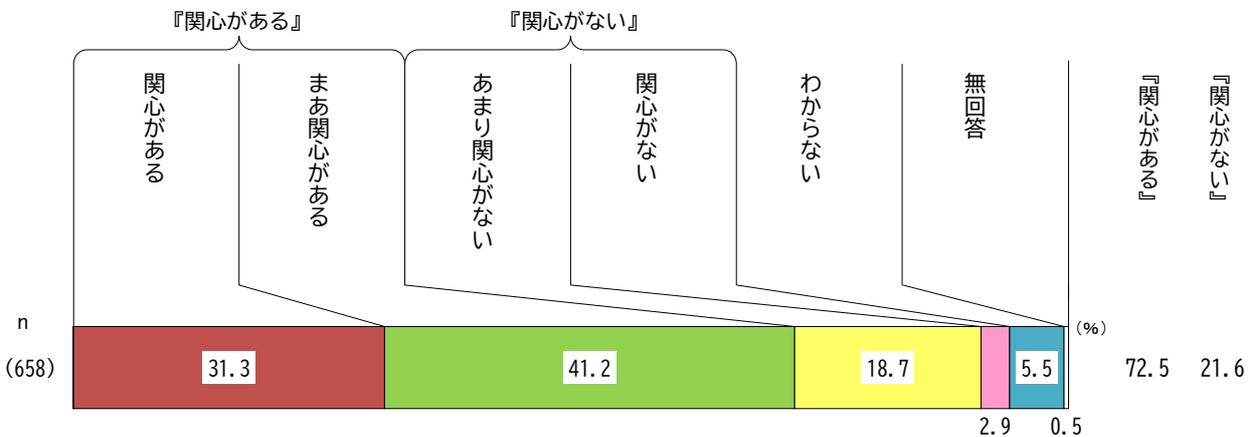


# 2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」（41.2%）が4割を超えて最も多く、これに「関心がある」（31.3%）を合わせた『関心がある』（72.5%）は7割を超えています。

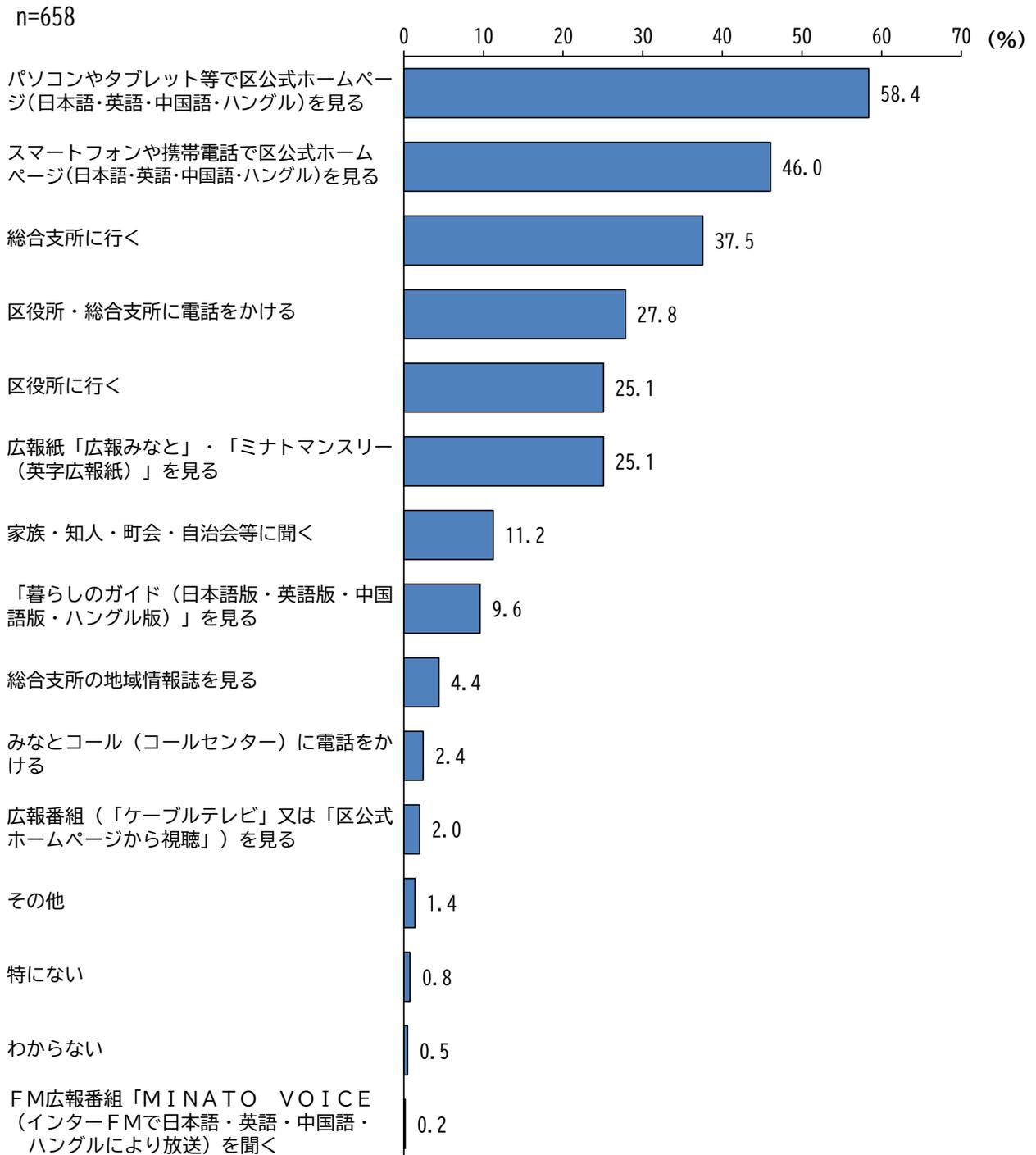
一方、「あまり関心がない」（18.7%）と「関心がない」（2.9%）を合わせた『関心がない』（21.6%）は2割を超えています。（図2）

図2



区の行政サービスや手続きの方法を知りたいとき、どのように情報を入手するか聞いたところ、「パソコンやタブレット等で区公式ホームページ（日本語・英語・中国語・ハングル）を見る」（58.4%）が6割近くで最も多く、次いで「スマートフォンや携帯電話で区公式ホームページ（日本語・英語・中国語・ハングル）を見る」（46.0%）、「総合支所に行く」（37.5%）、「区役所・総合支所に電話をかける」（27.8%）、「区役所に行く」（25.1%）、「広報紙「広報みなと」・「ミナトマンスリー（英字広報紙）」を見る」（25.1%）と続いています。（図3）

図3



### 3 区基本計画

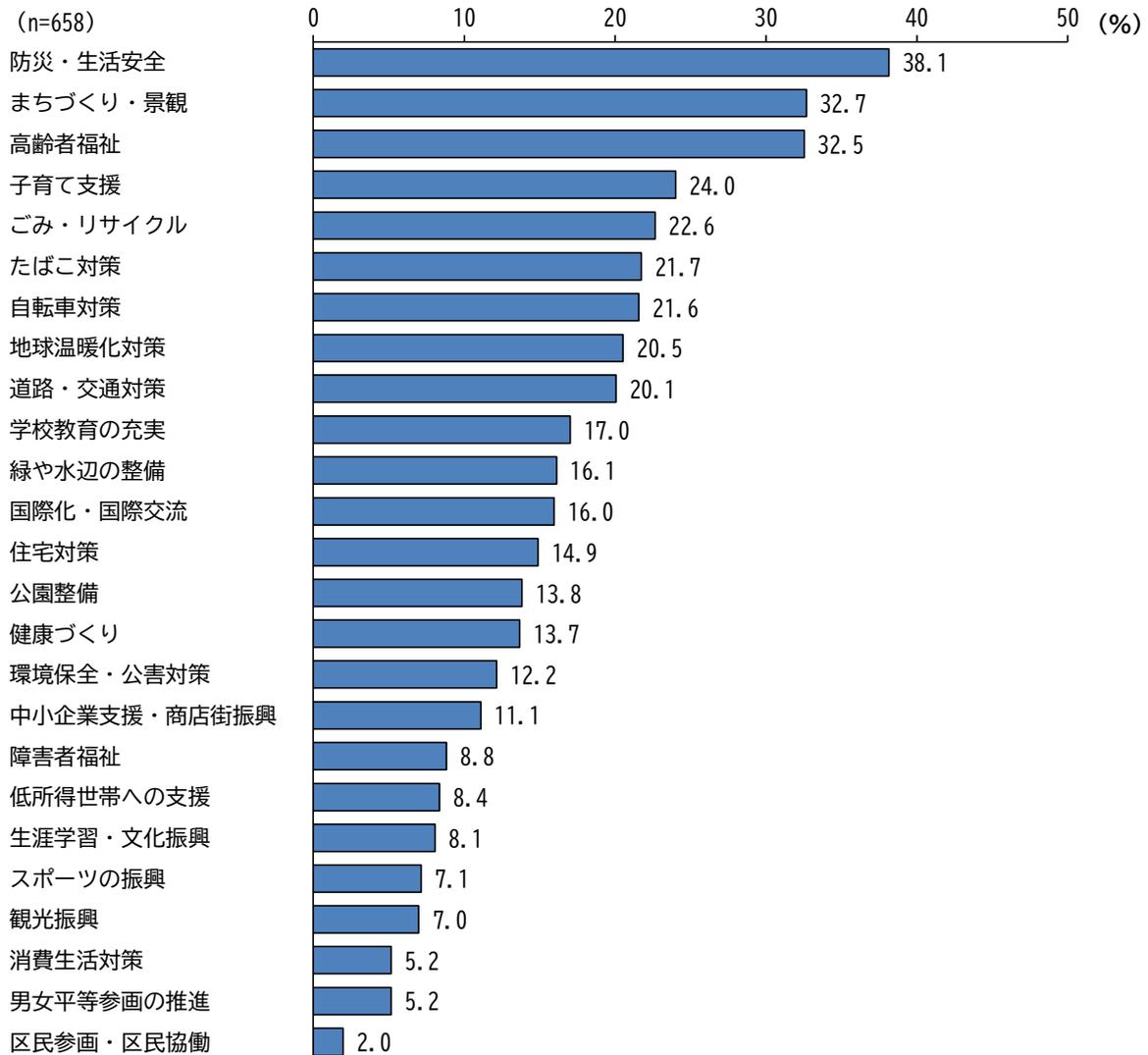
平成 27(2015)年度に策定した「港区基本計画（平成 27(2015)年度～平成 32(2020)年度）」の後期 3 年に当たる、平成 30(2018)年度から令和 2 (2020)年度までの計画を改定したことを知っているか聞いたところ、「知っている」(8.8%) は 1 割近くであり、「知らない」(90.7%) が約 9 割となっています。(図 4)

図 4



今後、港区が特に重点的に取り組むべきと思うものを聞いたところ、「防災・生活安全」(38.1%) が 4 割近くと最も多くなっています。次いで、「まちづくり・景観」(32.7%)、「高齢者福祉」(32.5%) が 3 割を超えて続いています。(図 5)

図 5



## 4 やさしい日本語

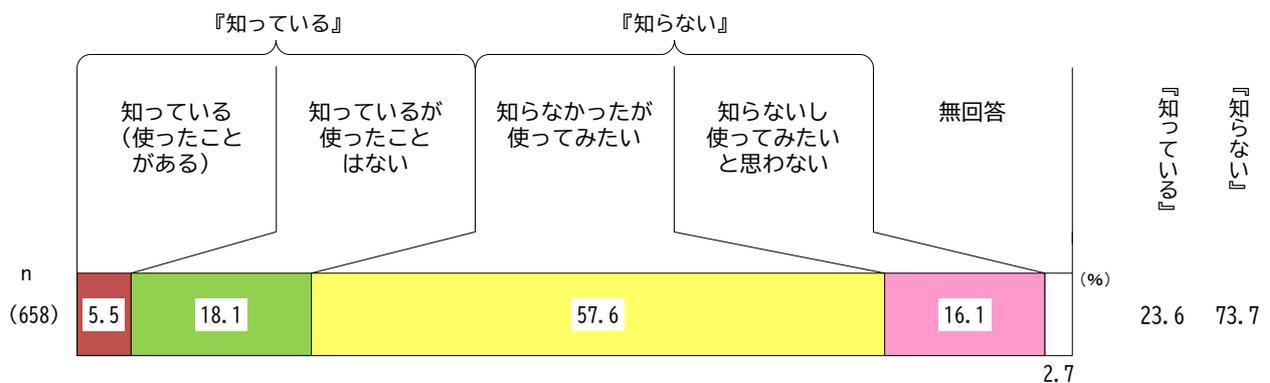
区では、外国人にもわかりやすく表現された「やさしい日本語」の取組を実施しています。

「やさしい日本語」を知っているか聞いたところ、「知っている（使ったことがある）」(5.5%)と「知っているが使ったことはない」(18.1%)を合わせた『知っている』(23.6%)は2割を超えています。一方、「知らなかったが使ってみたい」(57.6%)が6割近くで最も多く、これに「知らないし使ってみたいと思わない」(16.1%)を合わせた『知らない』(73.7%)は7割を超えています。(図6)

※やさしい日本語・・・外国人にも分かりやすい日本語の表現で書かれた日本語文のこと

例： 至急避難してください  
⇒ すぐに にげて ください

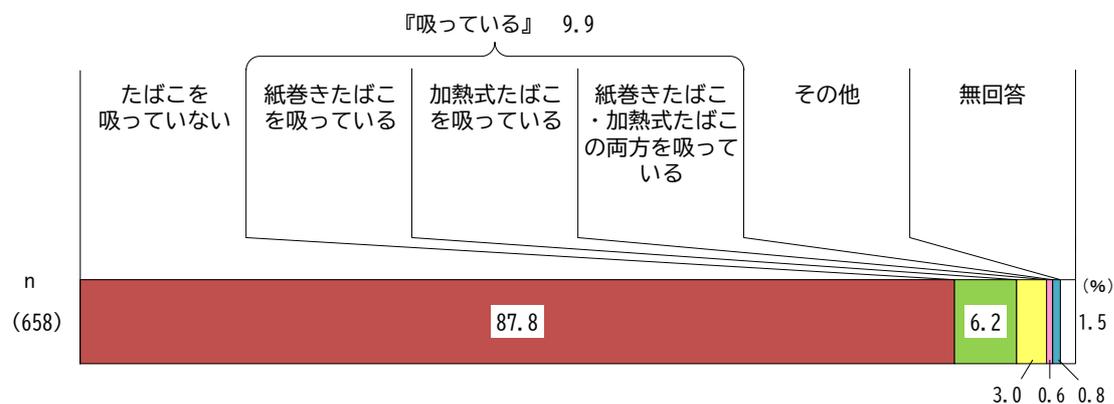
図6



## 5 みなとタバコルール

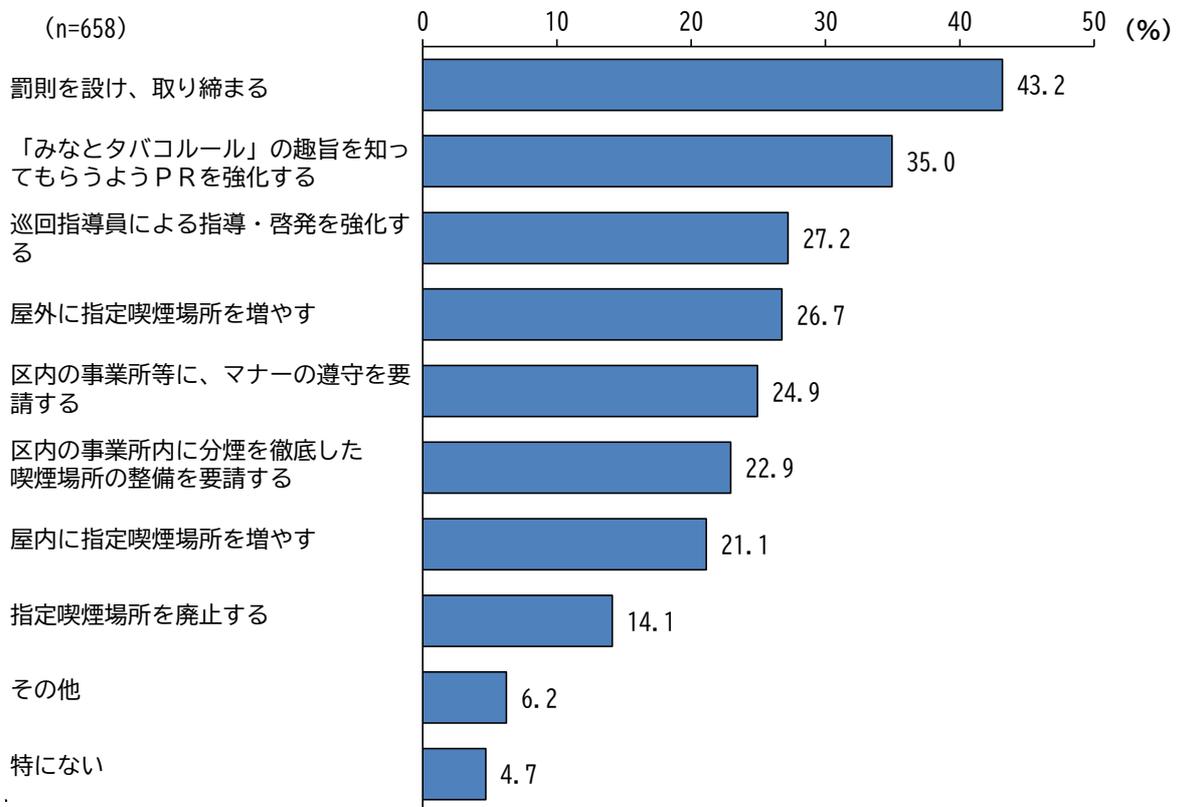
たばこを吸うか聞いたところ、「たばこを吸っていない」(87.8%)が9割近くで最も多く、「紙巻きたばこを吸っている」(6.2%)、「加熱式たばこを吸っている」(3.0%)、「紙巻きたばこ・加熱式たばこの両方を吸っている」(0.6%)を合わせた『吸っている』(9.9%)が1割となっています。(図7)

図7



今後のたばこ対策として、どのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「罰則を設け、取り締まる」(43.2%)が4割を超えて最も多く、「「みなとタバコルール」の趣旨を知ってもらうようPRを強化する」(35.0%)が3割半ばで続いています。(図8)

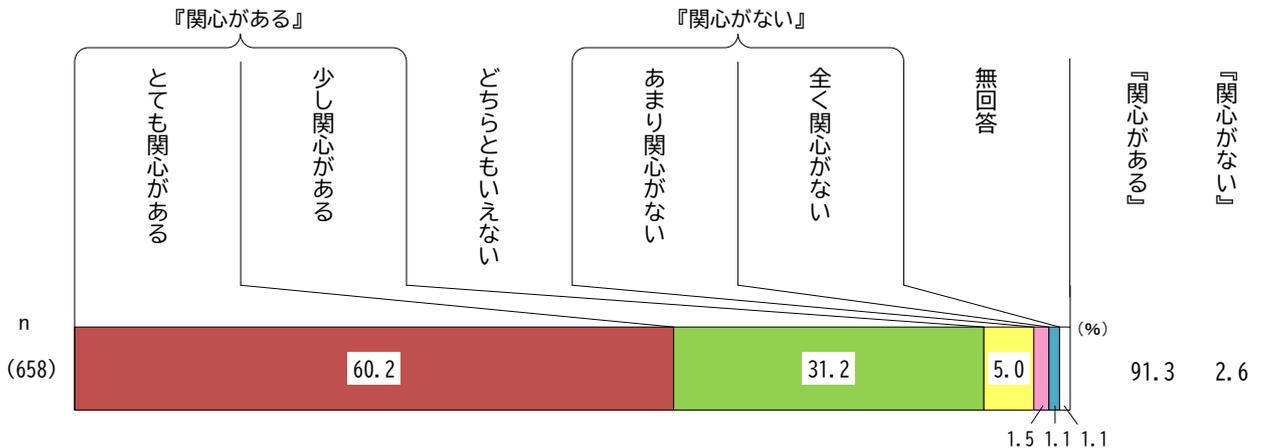
図8



## 6 プラスチックごみ

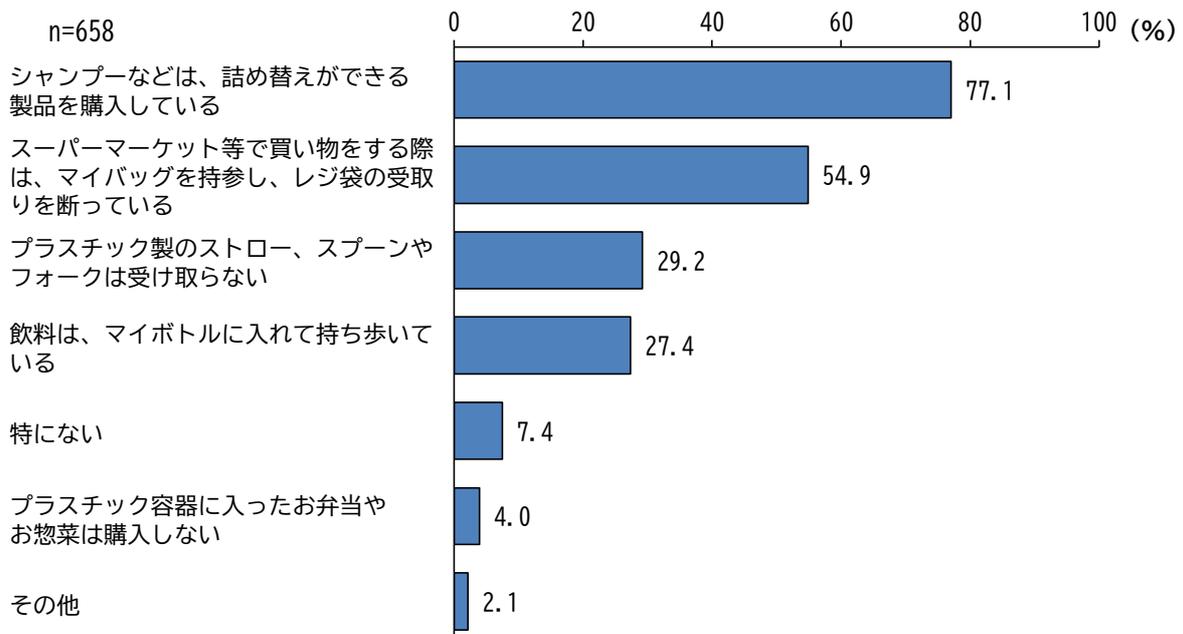
レジ袋やペットボトル等が海洋に流出することで、国際的な問題となっている海洋プラスチックごみに関心があるか聞いたところ、「とても関心がある」(60.2%)が6割で最も多く、これに「少し関心がある」(31.2%)を合わせた『関心がある』が9割を超えています。(図9)

図9



プラスチック製品の使用を減らすために日頃行っていることを聞いたところ、「シャンプーなどは、詰め替えができる製品を購入している」(77.1%)が8割近くで最も多く、「スーパーマーケット等で買い物をする際は、マイバッグを持参し、レジ袋の受取りを断っている」(54.9%)が5割半ばで続いています。(図10)

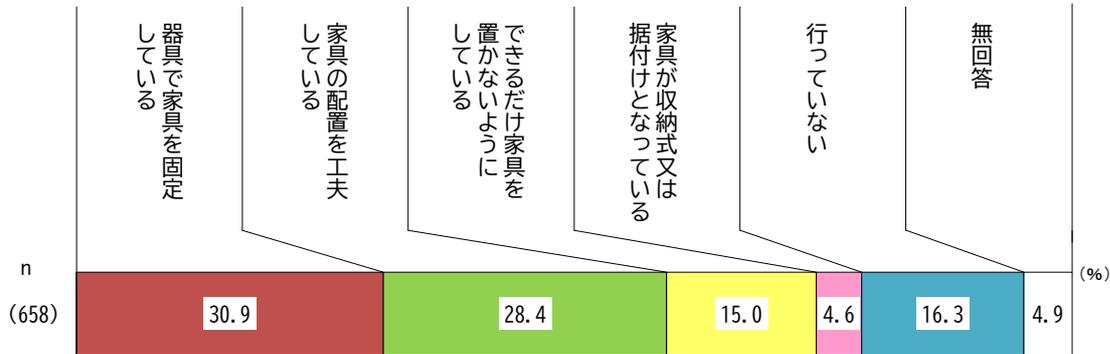
図10



## 7 災害対策

震災時に自宅でケガをしないために、事前の備えである家具の転倒・移動・落下対策として、自宅でのどのような対策を行っているか聞いたところ、「器具で家具を固定している」(30.9%)が約3割で最も多く、「家具の配置を工夫している」(28.4%)が3割近くで続いています。(図11)

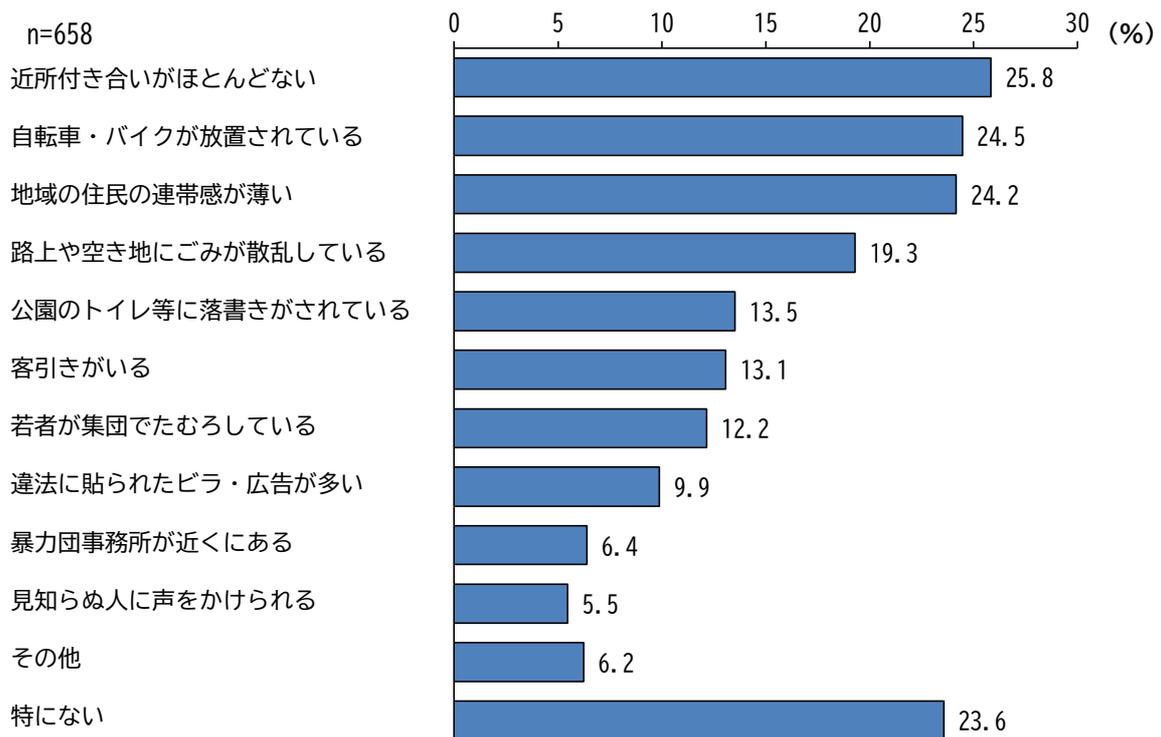
図11



## 8 生活安全

普段、自分自身を脅かすのではないかと不安を感じることはあるか聞いたところ、「近所付き合いがほとんどない」(25.8%)が2割半ばで最も多く、次いで「自転車・バイクが放置されている」(24.5%)、「地域の住民の連帯感が薄い」(24.2%)と続いています。一方、「特にない」(23.6%)も2割を超えています。(図12)

図12

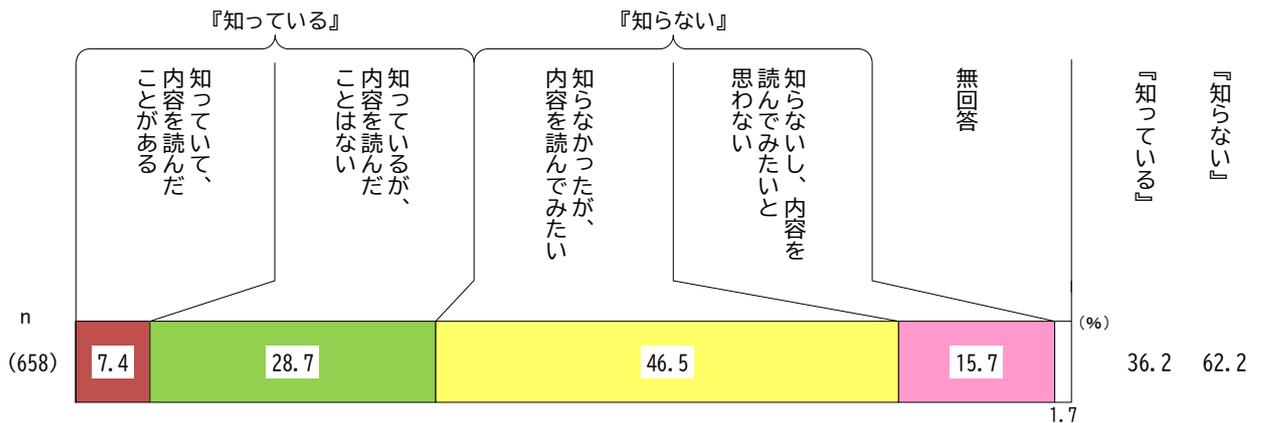


## 9 平和

「港区平和都市宣言」を知っているか聞いたところ、「知っている、内容を読んだことがある」(7.4%)と「知っているが、内容を読んだことはない」(28.7%)を合わせた『知っている』(36.2%)は3割半ばとなっています。

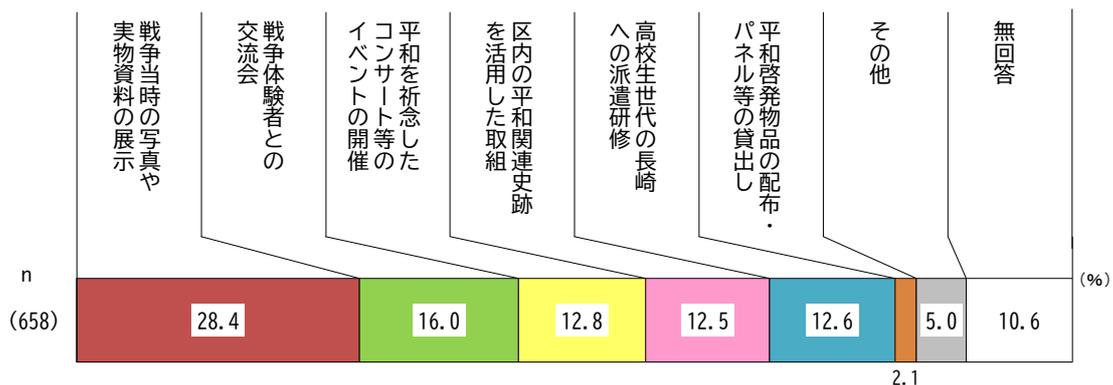
一方、「知らなかったが、内容を読みたい」(46.5%)と「知らないし、内容を読んでもいいと思わない」(15.7%)を合わせた『知らない』(62.2%)は6割を超えています。(図13)

図13



平和の大切さを伝えるためにどのような取組が必要か聞いたところ、「戦争当時の写真や実物資料の展示」(28.4%)が3割近くで最も多くなっています。(図14)

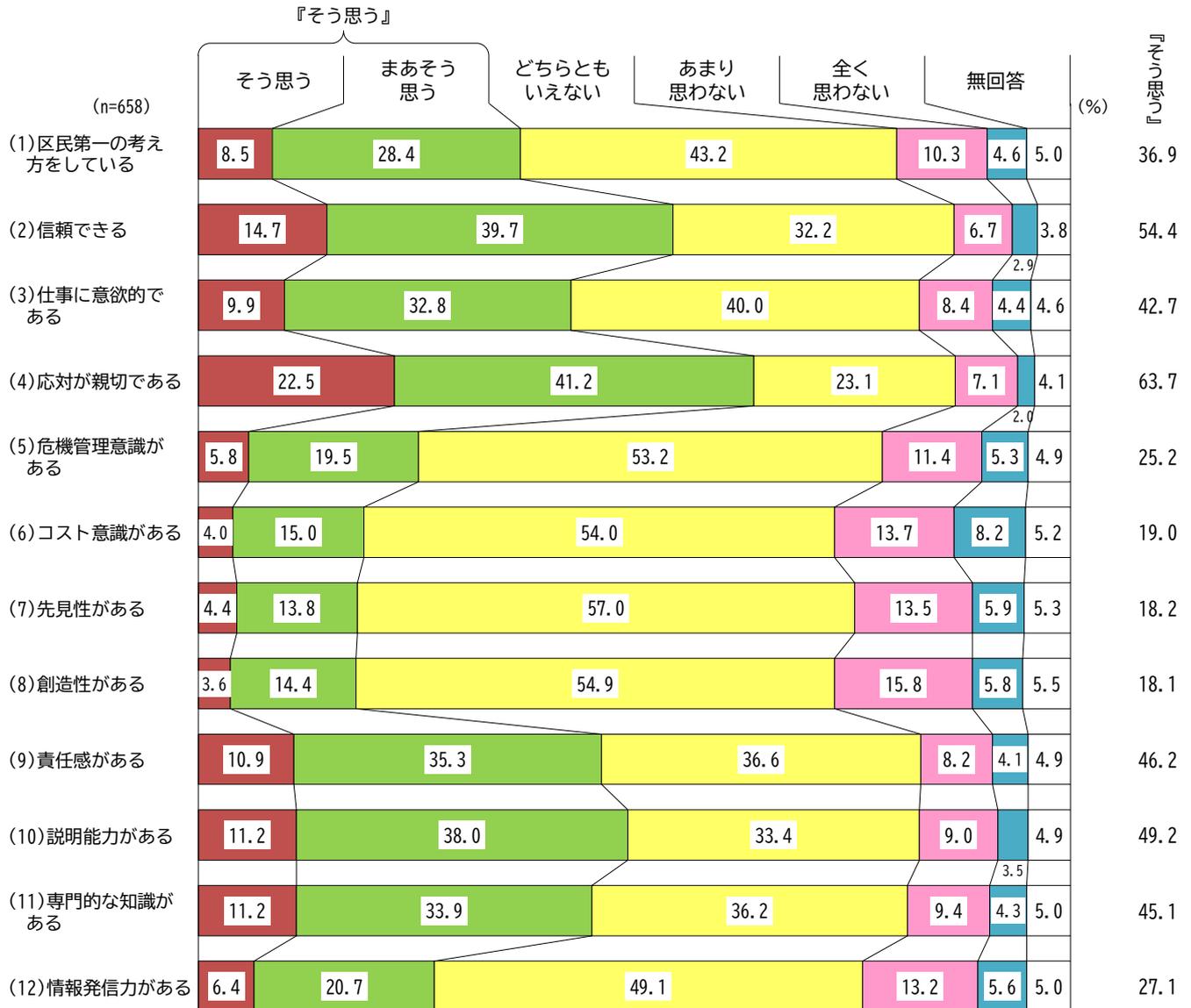
図14



## 10 港区の職員に対する印象

港区の職員に対する印象についてどのように感じているか聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』と感じる人の割合は、「応対が親切である」(63.7%)で6割を超え、「信頼できる」(54.4%)で5割半ば、「説明能力がある」で約5割となっています。一方、「先見性がある」(18.2%)、「創造性がある」(18.1%)では2割近くとなっています。(図15)

図 15



### 第 32 回港区民世論調査報告書概要版 MINATO OPINION

令和 2 年 (2020 年) 3 月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室  
 港区芝公園 1 丁目 5 番 25 号 電話 03 (3578) 2111 (代表)  
 刊行物発行番号 31191-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。  
 この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。